



安城市男女共同参画情報誌38号

共同参画

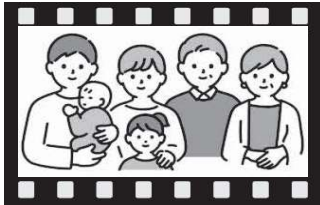
令和をともに生きる！
これからの家族のあり方

昭和モデルから令和モデルへ / えるぼし認定企業訪問 /
エンパワーメント講座を終えて・男女共同参画推進活動者表彰



～ 性別に関係なく一人ひとりが尊重され、 自分らしく活躍しながら生きられる社会 ～

男女共同参画社会とは、「男女が、社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うべき社会」のことを言い、性別が理由で家庭や仕事への参加の形に縛られることなく、一人ひとりが活躍できる社会を目指しています。



(昭和の大家族)

時代が昭和から平成・令和と流れてきたように、
家族の在り方も変化し多様化。
働き方も、サラリーマンと専業主婦から
共働きへと変化してきました。



(平成の核家族)

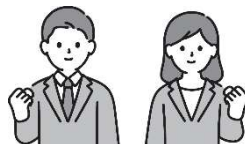
----- これからの新しい社会のカタチ -----

全ての人が希望に応じて、家庭でも仕事でも活躍できる社会への変革が実現した姿が「令和モデル」です。

令和モデル

- 男性の長時間労働是正や育児休業取得促進
- 女性に家事・育児負担が偏らないようにし、社会で更なる活躍を追求

希望が満たされ
能力を最大限に発揮して
仕事ができる環境整備



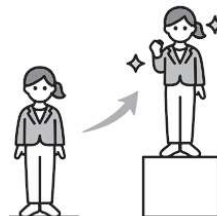
- 柔軟な働き方の浸透
- 仕事の成果を評価され、昇進を目指すことができる環境の整備

- 男女間賃金格差の是正
- 同一労働同一賃金の徹底
- 希望する全てのひとり親世帯が養育費を受領できるようにする

仕事と家事・育児等
バランスが取れた生活



女性の経済的自立



出典：内閣府男女共同参画局
令和5年版男女共同参画白書

世の中の変化に伴い、新しい社会の形が提唱されています。
皆が自分の人生にやりがいを感じながら共に生き、一人ひとりに優しい社会になるといいですね。



～ えるぼし認定企業



碧海信用金庫 に行ってきました。～

えるぼしって言葉、聞いたことありますか？

えるぼし認定とは…女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）に基づき、一定基準を満たし、女性の活躍促進に関する状況などが優良な企業を認定する制度のことです。認定基準は5つ。女性の能力が発揮できる環境である企業に付与されます。

碧海信用金庫経営管理部の 細井 雄太 さんと 海津 美和 さんにお話をお聞きました。

☆ 男性職員の育児休業制度が徐々に浸透する職場環境

Q: 育休を取るため、社内全体の理解を深める具体的な取り組みはありますか？

A: 育休対象者に対して育休推進案内を送る際に、あえて所属長宛にしています。周囲にも知らせることで本人が取りやすい環境を作っています。育休を取らなかった世代の方には理解を深めるための研修も行いました。



経営管理部人事戦略グループ
グループ長 細井雄太さん



編集委員(中垣麻衣・榎原直子)

☆ 就職活動の学生たちが働くうえで重視するポイント

Q: 就活生との話の中でワーク・ライフ・バランスを重視していると感じることはありますか？

A: 感じることはあります。有給休暇や育児休業の取得状況、残業の有無など気にされる学生がいます。そのため、インターンシップ時に若手職員との座談会を開催し、実際の状況と学生側がホームページ等で調べた企業内容と相違がないか感じてもらうようにしています。

金庫でもワーク・ライフ・バランスを重視する職員が増えたことで、上司がより積極的に有休休暇を取り入れるようになりました。そのおかげで部下もより有給休暇を取得しやすくなり、金庫で良い流れができたように感じています。



☆ 長期休業明けの不安解消への取り組み

Q: 育休で長期休業した場合、職場復帰に向けての制度等ありますか？

A: 復職 3 か月前より復職前研修があります。そのために託児所利用時の補助金も負担します。育休中に希望者にパソコンを貸し出すことで、仕事内容の確認ができ、復帰後できるだけ精神的負担がないように配慮しています。また復帰後に同じような経験をした先輩職員と話すことで、仕事と家庭の両立の励みになっている職員もいます。



経営管理部人事戦略グループ
海津美和さん

【お二人と話をした中で…】

誰が休むか分からないコロナがきっかけとなり、急な事情により欠員が出た場合でも増員せず、残った者で臨機応変に対応。「お互い様」と「ありがたい」の言葉が何度かお話の中でお二人から聞かれました。幅広い年齢層がいる中で良いところをお互い取り入れ、環境を良くしている、そのことが伝わるお話が聞けました。





安城市エンパワーメント講座 自分力アップセミナー

✿ \ 受講生の声 / ✿



自分を見つめ直す時間ってなかなか取れないけど、託児付きだから参加できました！講座でのグループワークが毎回楽しく、多くの参加者の方と話すことができ、仲間作りにもなりました。そして40歳を目前に「夢」ができました！

市外在住ですが、勤務地が安城なので参加できました。講座中は、毎回違うメンバーとのワークがあり、様々な考え方を学びながら自己成長を実感しました。最後の日には、自分が本当にやりたいことが見つかりました！



エンパワーメント講座とは？

主婦＆子育てママの声から生まれた、楽しく自分を深める講座です。

新しいことを始めるきっかけが欲しい人や、妻やママじゃない「私」自身の新たな発見をしたい人におすすめです。



エンパワーメント講座
詳しくはこちら



エンパワーメント講座ゲストスピーカー 伊藤 彰洸さんインタビュー

Q 講座のゲストスピーカーを務めてみて、どのように感じましたか？

A 皆さんが前向きで楽しそうに受講されていて、私も終始楽しく過ごさせていただきました。夫婦間のコミュニケーションに一番大事なのは「思いやり、寄り添う」ということを今回の講義を通して改めて感じました。

Q 伊藤さんは兼業主夫としてご活躍されていますが、主夫についてどうお考えですか？

A 肩書きにとらわれず自身が納得している今の生活スタイルがとても気に入ってます。役割を明確にして家族をサポートしていくことが、一番の役目だと感じています。



伊藤 彰洸さん
複数のビジネスをこなしつつ
「兼業主夫」として家族をサポート



男女共同参画推進活動者表彰

受賞者／北村 新子（きたむら しんこ）さん

令和5年10月23日（月）ウィルあいちにて2023あいち男女共同参画のつどいが開催され、北村新子さんが表彰されました。

北村さんは「さんかく21・安城」で会長等の役職を務められ、男女共同参画社会の実現を目指す市民団体のネットワークづくりに貢献されました。

また「刈谷・知立・安城おやこ劇場」では、子育て支援を通して女性の社会参画を支援する活動に尽力されました。

受賞者コメント

素晴らしい諸先輩方のリードのもと活動することで、男女共同参画実現の意識を女性のためのものから市民全体としてのものへと大きく成長させている確信があります。

これからも精進し「さんかく21・安城」のみなさんと共に活動していきたいです。



編集後記

エンパワーメント講座に参加したことで、今回の編集に携わることができました。初めての情報誌編集で分からないことも多く、たくさん悩んで何度も作り直してようやく完成しました。多くの方に読んでいただけたら嬉しいです。

《編集委員》石川愛子・榊原直子
中垣麻衣・山本妃呂美

企画・編集：エンパワーメント講座修了生
発行：安城市
問合せ先 安城市役所市民生活部市民協働課
〒446-8501 愛知県安城市桜町18-23
Tel(0566)71-2218 Fax(0566)72-3741
メール kyodo@city.anjo.lg.jp